

登録コード:MH197300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	疫学・保健統計【22M以降】 Epidemiology and Health Statistics			
担当教員	五十嵐 久人 富澤 真澄			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 前期 水曜・1時限 水曜・2時限			
単位数、講義室	2単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		健康に関連した保健統計資料の見方や基本的な疫学研究手法と統計手法について理解することができる。	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		様々な保健統計資料から人間集団の健康状態を読み解く方法を理解することができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		健康関連データの解析を通して、科学的に健康をとらえることができる。	
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	疫学の考え方や研究手法を学び、人々の健康に関連する要因を明らかにする方法を理解する。健康度を表す指標を学び、様々な保健統計資料から人間集団の健康状態を読み解く方法を理解する。また、根拠に基づく看護（Evidence-Based Nursing：EBN）を実施するために必要な統計の意義や技術について学び、健康関連事象のデータの処理と解釈のための基礎的能力を養う。 本授業は、3年次前期に学ぶ「看護研究概論」と相互的に学んで行くことになります。そして、本授業の内容は、4年次に学ぶ「看護研究」の重要な基礎知識となります。 本授業は担当教員の地域保健活動における保健師としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回（4月15日）：疫学と保健統計学 第2回（4月22日）：疫学研究のデザインと特徴 第3回（4月30日）：疫学研究のデザインと特徴 第4回（5月13日）：疫学に用いられる指標 第5回（5月20日）：データの質とバイアス 第6回（5月27日）：疫学におけるスクリーニングの理論と事例 第7回（6月 3日）：社会疫学（社会構造が健康に与える影響） 第8回（6月10日）：母集団と標本調査（無作為抽出法、有意抽出法） 第9回（6月17日）：記述統計と推測統計、データの種類 第10回（6月24日）：推定と分布 第11回（6月24日）：1群の標本の検定 第12回（7月 1日）：2群の標本の検定 第13回（7月 1日）：3群以上の標本の検定 第14回（7月22日）：データ集計・分析演習1 第15回（7月22日）：データ集計・分析演習2、授業アンケート 第16回（7月29日）：試験			
授業の進め方	・授業は、配付資料、テキストに基づき進めて行きます。 ・能動的な学習と理解を目指す為、事前・事後学習の内容を授業に取り込み進めます。 ・配付資料は事前にeALPSにアップするので、各自で印刷・ダウンロードして下さい。			
テキスト，教材，参考書	テキスト ・「保健統計・疫学」（南山堂） 参考書 ・「基本からわかる看護統計学入門」医歯薬出版 ・「やさしい保健統計学」南江堂 ・「やさしい疫学」南江堂 ・「看護学生のための疫学・保健統計」南山堂 ・「厚生統計テキストハンドブック」厚生労働統計協会			
成績評価の方法	筆記試験で評価します。筆記試験は100点満点で60点以下の場合是不合格とします。			
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良：79 - 70点 可：69 - 60点			
事前事後学習の内容	【事前学習について】			

事前事後学習の内容	毎回，教科書や副読本,その他資料で予習しておくべき個所を指定します。 【事後学習について】 前回の授業内容について質問するので，端的にわかりやすく説明できるように準備して授業に参加してください。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）+ 自己学習時間60時間（4時間×15回）= 90時間 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	オフィスアワーは随時です。 授業内容や授業に関連した自己学習に関する質問や相談を随時受け付けます。学外指導等で不在が多い為、あらかじめメール等で在室の確認をとるようにしてください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp